

整理番号 19 作成日 平成 19 年 7 月 6 日

事業名 自然動物園の運営
 所属名 環境促進事業団 自然動物園 電話番号 (03)3680-0777

事業の目的・概要・対象者等

《事業の目的及び概要》
 都市の中であっても、動物のいのちと触れ合うことで区民の豊かな情操を育み、親子で安全に過ごせる憩いの場として行船公園内にある区立の動物園です。動物の展示数はレッサーパンダやフンボルトペンギンなど58種522点です。(敷地面積4,900㎡)
 区民に親しまれる顔の見える動物園にして動物を理解してもらうとともに命の大切さを理解していただくため、土・日曜日や食事時間などに飼育係による解説を行っています。また、動物と直接ふれあうことができるコーナーも設置しています。
 【その他の活動】 ・ふれあい動物出張サービス・飼育体験教室・傷病野生動物の保護

《事業の開始年度》 昭和58年5月5日開園

【区人口・平成19年4月1日現在 ・区民・区外、誰でも入園可能です。
 ・休園日：月曜日(祝日は翌日)・12月30日～1月1日
 ・開園時間10時～16時30分(季節等により異なります)
 ・入園料無料

対象者 665,633人 (外国人登録数を含む)

活動指標

活動指標 飼育員による動物の生態解説

18年度 12回 600人参加
 *日曜日に実施(不定期)



成果・目標指標

成果・目標指標 入園者数

18年度 635,508人 21年度目標 670,000人

説明
 動物園の設置目的は、いのちの大切さを身近な場所で多くの方に理解していただくことで、大幅な入園者の増加は期待していません。しかし、多くの方が訪れることによって、伝える機会が増え、目的も果たされます。



経費の概要

18年度 事業実施経費 161,211千円

内訳 入園者一人あたり254円

【人件費と担当職員数】

ア 常勤職員	8.0人
イ 非常勤職員	4.0人
ウ 臨時職員	3.0人

85,975千円

経費の説明
 動物の飼料や施設修繕費などの動物園の運営経費になります。

その他

《実施の根拠となる法令等》
 根拠法令なし。独自施策として実施。

《民間委託やボランティアなどとの協働の状況》

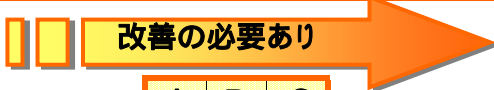
《区民からのご意見やご要望》
 動物が可愛く感じ飼育員に親しみがもてる。

《その他》

平成19年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

整理番号	19	事業名	自然動物園の運営
		所属名	環境促進事業団 自然動物園

所管課長評価

評価項目	評価及び評価の視点			所管課コメント
 <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> A B C </div>				
1 有効性	有効である	A	有効でない	・動物とのふれあいを通して、現代社会に求められる生命の大切さはもとより、地球環境問題まで探究心を育むことができる。
	・事業の目的を達成するために有効である。			
2 公平性	公平である	A	公平でない	・無料施設である。 ・誰でも入園できる。 ・行船公園の一つの施設として有効に機能している。
	・対象者や実施回数等は適切である。 ・受益者負担の額は適切である。			
3 民間活力の活用	現状ままでよい	B	促進したほうがよい	・ボランティアとの協働は必要である。 ・民間委託について研究している。
	・ボランティアやNPOと協働して実施したほうがよい。 ・民間事業者へ委託等したほうがよい。			
4 効率性	現状ままでよい	C	改善の必要がある	・飼育職員について、派遣職員を解除し、非常勤職員に切替えを行った。さらに経費の削減について検討する。
	・効率的に実施するために、工夫、改善等の必要がある。 ・経費を削減できる。			
5 必要性	必要である	A	必要ない	・身近なふれあい動物園として人気のある施設であり、子ども達の情操教育の一環としても効果が大きく、必要な施設である。
	・事業の目的を果たすためには公費を投じて実施するべき事業である。			

所管部長の意見等

・当動物園は、他の動物園と比べ、小規模かつ猛獣のような目玉となる動物展示はないものの、ウサギ、モルモット、チャボ等のふれあいコーナーを中心とした、真に親子と語り合いながら生命のあたたかみ、大切さを体感できる動物園として、動物愛護の普及啓発事業として進めています。
 ・18年度から取り組んでいる「職員の顔の見える動物園づくり」として、お客様に飼育職員が積極的に動物の解説を行ったり、お客様からのアンケート調査を行い運営に活用するなど、現在では情報発信機能の向上と職員の意識改革が急速に進んでおり、今後の展開に期待し

平成19年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

整理番号	19	事業名	自然動物園の運営
所属名		環境促進事業団 自然動物園	

外部評価委員会評価

評価項目	評価及び・評価の視点			備考
1 有効性	有効である	A	有効でない	
	・事業の目的を達成するために有効である。			
2 公平性	公平である	A	公平でない	
	・対象者や実施回数等は適切である。 ・受益者負担の額は適切である。			
3 民間活力の活用	現状ままでよい	B	促進したほうがよい	
	・ボランティアやNPOと協働して実施したほうがよい。 ・民間事業者へ委託等したほうがよい。			
4 効率性	現状ままでよい	B	改善の必要がある	
	・効率的に実施するために、工夫、改善等の必要がある。 ・経費を削減できる。			
5 必要性	必要である	A	必要ない	
	・事業の目的を果たすためには公費を投じて実施するべき事業である。			

外部評価委員の各意見

- ・何らかの形でボランティア活動を導入してはどうか。
- ・すすくすくスクール等との連携を考えたらどうか。
- ・子どもたちが、実際に動物とのスキンシップを通じて生命の大切さを学んでくれたらと思う。
- ・汚れ仕事(フンの清掃等)まで体験させて欲しいと思う。
- ・区に自然動物園があることによって、幼児や区民が、愛情や命の大切さ、いとしさなどを感じることができ、すばらしいことばかりである。
- ・入園料を無料にして、よい運営がなされていると思う。
- ・動物を自宅で飼うことができない家庭もあるかと思うので、動物とふれあい、命の大切さを学ぶよい機会だと思う。